事例No.	2191
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	島根県松江市

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	地域資源活用

事例内容・タイトル

歴史文化の港町・美保関の古民家を活用した宿泊施設とレトロなBAR整備事業

出典

地域力創造推進に関する研究会（第3回）

ローカル10,000プロジェクト　島根県松江市
「歴史文化の港町・美保関の古民家を活用した宿泊施設とレトロなBAR整備事業」

平成30年度採択

【事業背景】

○海運・観光の拠点として繁栄した美保関は人口減少、高齢化、旅行形態の変化等により当時の賑わいが失われた。

○歴史的建造物や神話などの魅力的な観光資源を有するが、観光客が伸び悩んでいる。

○地域に空き家となった古民家が点在している。

【事業実施者】 美保館

【自治体・金融機関の支援内容】

○国費（地域経済循環創造事業交付金）：19,000千円

○山陰合同銀行による融資額：19,000千円

【取組内容】

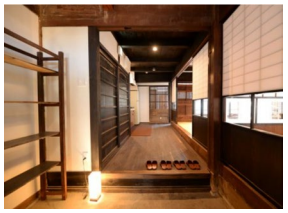
○観光拠点整備

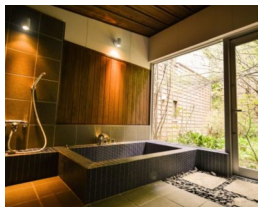
・3軒の古民家を、インバウンドや企業・大学の合宿にも対応できる宿泊施設にリノベーション。

・また、既存の宿泊施設に半露天風呂、宴会や朝食会場として利用する国登録文化財に夜の交流の場となるバーを新設。

○観光拠点活用

・これらの施設を「交流の場」「観光情報発信の場」「地元住民の発表の場（民謡、ジャズ、アート）」などとして活用




【地域への貢献】

○施設の一棟貸の需要増や修学旅行の受入れを行うことで、周辺観光地への誘導がなされ、地域への観光客増・観光消費額の増に繋がっている。

○交流の場を設けることで、地元住民と観光客の交流が生まれ、賑わいが創出されている。

○歴史的建造物・古民家を活用し、空き家の解消、歴史的建造物群が廃れるのを防いでいる。